

平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7927 URL http://www.muto.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,773	△1.3	104	△65.2	244	△17.1	85	△61.7
30年3月期第1四半期	5,848	20.2	299	—	294	—	223	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 253百万円(△12.7%) 30年3月期第1四半期 290百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年3月期第1四半期	11	93	—	—
30年3月期第1四半期	31	15	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
31年3月期第1四半期	百万円 23,234	百万円 12,134	% 49.3
30年3月期	23,316	12,067	48.9

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 11,448百万円 30年3月期 11,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
30年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 26.00	円 銭 26.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	8.00	—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	13,000	△0.9	450	△52.7	430	△54.4	300	△61.9	41	74
通期	25,000	△3.2	900	△34.9	850	△24.8	600	△35.1	83	49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	7,739,548株	30年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	552,784株	30年3月期	552,784株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	7,186,764株	30年3月期1Q	7,186,899株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前期から続く企業収益や雇用環境の改善、為替市場の動向を背景に、回復基調が続いております。

世界経済におきましては、地域による政治的不確実性や地政学的リスクなどの懸念が残っておりますが、欧米や中国をはじめとするアジア地域において、緩やかに回復しております。

当社を取り巻く業界において、自動車関連では、全般的に新車の販売動向は減少傾向にあります。家電分野では、東南アジアにおいて需要の拡大が続いておりますが、国内販売は伸び悩んでおります。医療機器関連では、高齢化社会や健康志向の増加に伴う医療ニーズを背景に、全世界的に市場は拡大を続けております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、付加価値の高い製品の受注と生産体制の整備を強化してまいりましたが、取引先の受注減に伴い、主要なセグメントであるプラスチック成形事業で売上が減少いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は57億7千3百万円と前年同四半期と比べ7千5百万円(1.3%)の減収、営業利益は固定費の高止まり等により1億4百万円と前年同四半期と比べ1億9千5百万円(65.2%)の減益、経常利益は為替差益の計上により2億4千4百万円と前年同四半期と比べ5千万円(17.1%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の増加により8千5百万円と前年同四半期と比べ1億3千8百万円(61.7%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、中国や東南アジアでの需要を背景に、ムトーベトナムCO.,LTD.では血圧計や血糖値計、ムトーテクノロジーハノイCO.,LTD.ではプリンター部品の販売が増加傾向にあります。しかしながら、前期に好調だった自動車部品やスマートフォン向けの電子ペンの売上が減少に転じました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて51億8千7百万円と前年同四半期と比べ7千1百万円(1.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は8千3百万円と前年同四半期と比べ2億1千9百万円(72.4%)の減益となりました。

#### ② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、デジタルカメラ関連市場は縮小傾向にあり、売上も減少が続いておりますが、高級デジタルカメラや自動車向けなど付加価値の高い部品の受注が増加しました。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて5億2千3百万円と前年同四半期と比べ2千2百万円(4.1%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は9百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)4百万円)となりました。

#### ③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、パッケージ基板の設計業務で売上が大きく増加しました。検査部門では、セラミック基板など特殊品の受注が堅調でした。MID関連においても、試作品の受注により売上が増加しております。その結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて7千8百万円と前年同四半期と比べ1千4百万円(23.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1千1百万円と前年同四半期と比べ9百万円(482.0%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億4千5百万円減少し、150億4千2百万円となりました。現金及び預金が2億4千7百万円、商品及び製品が1億9千万円それぞれ減少し、仕掛品が1億7千4百万円増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億6千3百万円増加し、81億9千1百万円となりました。有形固定資産が2億4千6百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8千1百万円減少し、232億3千4百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億3千8百万円減少し、69億6千4百万円となりました。短期借入金が9億3千6百万円減少し、支払手形及び買掛金が1億3千4百万円、その他(流動負債)が2億6千7百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億8千9百万円増加し、41億3千5百万円となりました。長期借入金が2億1千8百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ1億4千9百万円減少し、110億9千9百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6千7百万円増加し、121億3千4百万円となりました。為替換算調整勘定が1億5千5百万円増加し、利益剰余金が1億1百万円減少したことなどが主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想(第2四半期(累計)、通期)及び配当予想(第2四半期末、期末)につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,229,427	5,981,743
受取手形及び売掛金	4,430,420	4,434,080
電子記録債権	705,845	755,629
商品及び製品	1,023,736	833,253
仕掛品	685,250	860,190
原材料及び貯蔵品	1,583,245	1,556,964
未収入金	203,783	210,583
その他	527,460	411,623
貸倒引当金	△1,410	△1,410
流動資産合計	15,387,759	15,042,659
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,933,516	1,893,197
機械装置及び運搬具(純額)	3,066,975	3,058,619
土地	1,166,268	1,161,189
リース資産(純額)	14,361	13,486
建設仮勘定	249,679	545,552
その他(純額)	753,770	759,467
有形固定資産合計	7,184,572	7,431,512
無形固定資産	242,025	236,515
投資その他の資産		
投資有価証券	244,118	248,534
退職給付に係る資産	124,136	129,983
繰延税金資産	8,786	8,337
その他	127,836	139,740
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	501,992	523,711
固定資産合計	7,928,589	8,191,739
資産合計	23,316,349	23,234,399

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,474,712	2,608,926
短期借入金	2,585,000	1,648,764
1年内返済予定の長期借入金	1,253,262	1,430,000
未払法人税等	94,416	121,472
賞与引当金	208,681	101,512
その他	786,301	1,053,478
流動負債合計	7,402,373	6,964,153
固定負債		
長期借入金	3,278,148	3,496,849
繰延税金負債	195,925	263,520
役員退職慰労引当金	140,506	135,160
退職給付に係る負債	208,188	218,732
その他	23,315	21,002
固定負債合計	3,846,083	4,135,264
負債合計	11,248,456	11,099,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,096
利益剰余金	8,112,409	8,011,292
自己株式	△397,883	△397,883
株主資本合計	12,149,581	12,048,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,038	23,868
為替換算調整勘定	△779,211	△624,123
その他の包括利益累計額合計	△759,173	△600,254
非支配株主持分	677,484	686,769
純資産合計	12,067,893	12,134,981
負債純資産合計	23,316,349	23,234,399

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,848,322	5,773,165
売上原価	4,811,584	4,923,845
売上総利益	1,036,738	849,320
販売費及び一般管理費	736,908	745,045
営業利益	299,829	104,275
営業外収益		
受取利息	11,075	19,504
受取配当金	2,542	5,900
為替差益	—	124,253
その他	4,699	2,140
営業外収益合計	18,317	151,799
営業外費用		
支払利息	21,541	11,450
為替差損	1,628	—
営業外費用合計	23,170	11,450
経常利益	294,977	244,623
特別利益		
固定資産売却益	2,890	3,945
特別利益合計	2,890	3,945
特別損失		
固定資産除却損	2,416	9,891
特別損失合計	2,416	9,891
税金等調整前四半期純利益	295,451	238,677
法人税等	63,474	132,850
四半期純利益	231,977	105,827
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,087	20,087
親会社株主に帰属する四半期純利益	223,889	85,739



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	231,977	105,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△766	3,830
為替換算調整勘定	59,639	144,286
その他の包括利益合計	58,872	148,116
四半期包括利益	290,850	253,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,381	244,658
非支配株主に係る四半期包括利益	16,468	9,285

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,256,008	530,748	61,565	5,848,322	—	5,848,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,526	15,737	2,275	21,539	△21,539	—
計	5,259,535	546,485	63,840	5,869,862	△21,539	5,848,322
セグメント利益又は損失(△)	302,656	△4,721	1,895	299,829	—	299,829

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,180,915	513,740	78,509	5,773,165	—	5,773,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,025	10,157	—	17,182	△17,182	—
計	5,187,940	523,898	78,509	5,790,348	△17,182	5,773,165
セグメント利益	83,422	9,821	11,031	104,275	—	104,275

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。